

授業科目名	デスティネーションマネジメント 論	担当教員	島津 太一
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2 年 第 3 クォーター		
講義内容	日本の観光地が現在置かれている状況を、観光政策や観光産業、地域社会の変遷を踏まえた歴史的視点から俯瞰し、個別事業や施設単位ではなく、「観光地」という空間単位でのマネジメントが求められるようになった背景を理解する。デスティネーションマネジメントに必要な基本的視点を整理するとともに、地域規模の計画論としての地域観光プランニングのアプローチを概説する。さらに、持続可能性、安全管理、交通マネジメント等の要素ごとに理論と具体的事例を用いて、デスティネーションマネジメントの実践的な手法を学ぶ。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デスティネーションマネジメントの基本概念を理解する</li> <li>・実践的な手法を通じて、観光地経営の方法論を理解する</li> <li>・観光地域づくり法人（DMO）の役割や活動について理解する</li> </ul>		
授業計画	<p>第 1 回 デスティネーションマネジメントとは何か ～観光地経営という考え方の登場</p> <p>第 2 回 日本の観光地の形成と転換 ～観光政策・観光産業の歴史展開</p> <p>第 3 回 観光地を経営単位として捉える ～個別事業からエリアマネジメントへ</p> <p>第 4 回 観光地経営の枠組み ～ステークホルダー、公共性・経済性</p> <p>第 5 回 地域観光プランニングの基本構造 ～ビジョン設定と計画プロセス</p> <p>第 6 回 観光資源の把握と編集 ～空間・体験・ストーリーの設計</p> <p>第 7 回 観光地マーケティングとブランディング ～デスティネーションの価値創造</p> <p>第 8 回 特定市場と観光地経営 ～インバウンド・MICE・スポーツツーリズム</p> <p>第 9 回 持続可能な観光とデスティネーションマネジメント ～環境・社会・経済のバランス</p> <p>第 10 回 安全管理とリスクマネジメント ～危機対応とレジリエンスの構築</p> <p>第 11 回 交通マネジメントと観光地の回遊性 ～混雑対策と移動の最適化</p>		

	第 12 回 観光地経営の実践と今後の課題～デスティネーションマネジメントの到達点
事前・事後 学習	観光地の構成要素は何かを事前に考えておくこと。 事後学習として、デスティネーションマネジメントの観点から、各地の観光地における課題や不足点を考察する。
テキスト	特になし
参考文献	授業を進めながら学生の興味関心に沿って参考文献を提示する
成績評価 の 基 準	授業態度 (40%)、レポート (60%)
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	観光分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	